

教育相談

1 相談活動

①乳幼児教育相談

0歳から就学前までの乳幼児と保護者の方を対象に年間を通して継続的な教育相談・支援を行っています。

○個別相談（1日3枠予約制） ○合同遊び

○保護者学習会（月2回）

○聞こえの把握と補聴器・人工内耳の装用支援および管理

②聴能相談

聴力測定や聞き取りの検査の他、補聴器、人工内耳のチェックや聞こえに関する相談を行っています。

③教育相談（学齢児）

○来校による教育相談・支援

○リモートによる教育相談・支援

○訪問による教育相談・支援

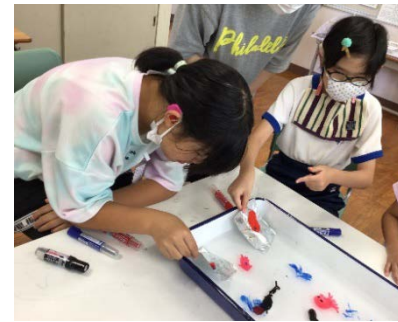
※全て予約制です。電話やメールでお問い合わせください。

【教育相談専用アドレス】 kou-se@news.ed.jp



佐世保分教室

分教室は、県北地区の幼児児童生徒たちが在籍しています。聴覚活用を促しながら、一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用し、言語力と学力の向上に努めています。また、地域の保育所や小学校との交流及び共同学習や、老人部・女性部との交流を行い、豊かな人間性や社会性を育てています。教育相談や支援教室を行うなど、県北地区における特別支援教育のセンター的機能を担っています。



2 支援活動

①「きこえとことばの教室」

県内の小学校、中学校、高等学校に在籍している児童生徒及び保護者を対象に、グループ活動や講話などを行い、ネットワーク作りを推進しています。

②外部職員向け研修会の実施

聴覚障害のある幼児児童生徒が在籍する学校の職員や関係機関に対して研修の機会を提供し、聴覚障害教育への理解を深める研修会を実施しています。

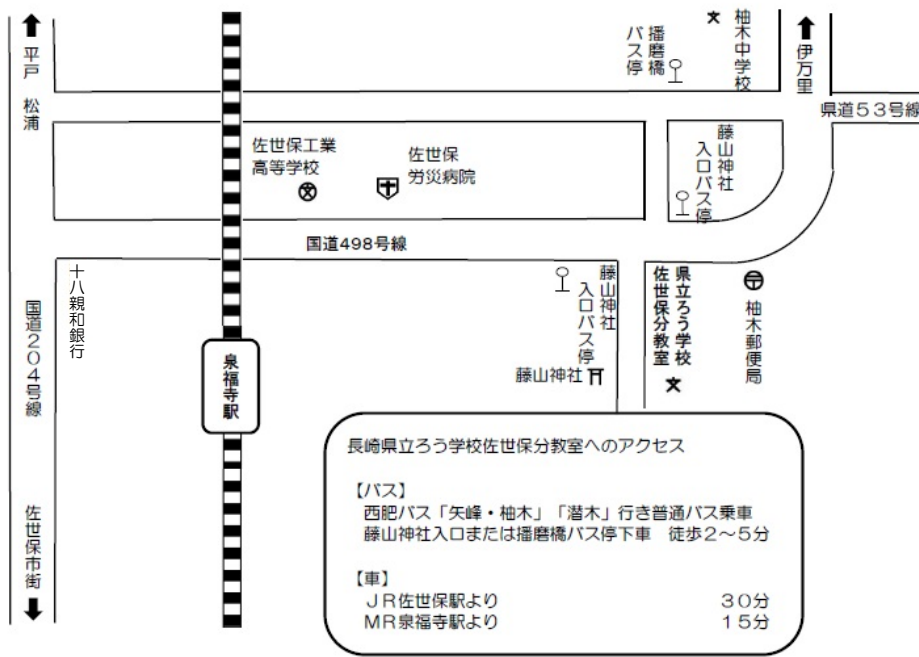
③外部の研究・研修会の支援

外部の研究・研修会への支援依頼の対応や研究・研修に関する情報提供を行っています。

自立活動

本校では、聴覚障害等による様々な困難を主体的に改善・克服することを目標に、各部の「目指す姿」に応じて6区分27項目から「聴能」「発音」「言語」「コミュニケーション」「障害認識」「社会自立」などを指導の柱に設定しています。

自立活動の時間の指導を中心に、学校の教育活動全体において指導を行っています。「個別の教育支援計画」のニーズや支援目標を踏まえた「個別の指導計画」を作成・活用し、計画・指導・評価・引継ぎを行い、効果的な指導に努めています。



佐世保分教室

〒857-0114

長崎県佐世保市小舟町60番地

学校 TEL 0956-46-0881

FAX 0956-46-2488

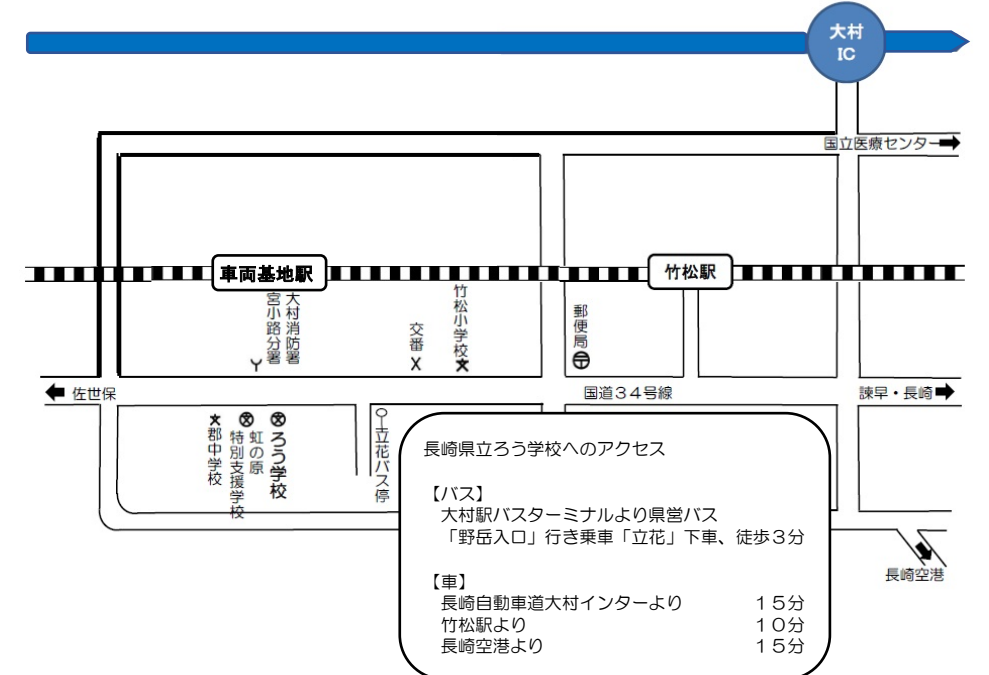
URL <http://www2.news.ed.jp/section/saseborou-bk/>

E-mail saseborou-b@news.ed.jp



長崎県立ろう学校

校訓 「強く 正しく 心豊かに」



本校

〒856-0807

長崎県大村市宮小路3丁目5番5

学校 TEL 0957-55-5400（校長室・事務室）
55-5406（職員室）

FAX 0957-55-5410

URL <http://www2.news.ed.jp/section/rou/>

E-mail rou@news.ed.jp

寄宿舎 TEL・FAX 0957-55-5435

本校の目指す教育

聴覚を最大限に活用させるとともに、一人一人に応じた手段を用いることでコミュニケーション力を高め、日本語の力を身に付けさせます。その力を土台として、一人一人の実態に応じた指導により、確かな学力と豊かな感性を育成し、社会自立と進路希望の実現を図ります。

また、県内の聴覚障害のある乳幼児や児童生徒及び保護者、教育関係者に対する支援を通して、子供たちの可能性を最大限に伸ばさせることに寄与します。

幼稚園部

幼稚園部は、幼稚園に準ずる教育を行い、季節の行事や日々の様々な遊びの中での体験をもとに、豊かな感性を養います。また、身近な人との関わりを通して、分かり合う、伝え合う経験を積み重ね、コミュニケーション力や言葉の力を育てています。小学部または小学校からの生活や学習につながるよう、自分のできることを増やしたり、考えて行動する意欲を高めたりすることにも取り組んでいます。



小学部

小学部は、小学校に準ずる教育を基本に、個々の実態に応じた学習内容を設定し、言語力の向上と基礎学力の定着に努めています。授業では、個別指導やチームティーチングによる、きめ細かな指導・支援を行っています。また、市内の小学校や居住地校との交流及び共同学習を行ったり、大村市の小学校体育祭・音楽会へ参加したりして、社会性や協調性を育てています。



中学部

中学部は、中学校に準ずる教育内容を基本に、学力と言語力の向上に努めています。授業では、ICT 機器を活用しながら一斉指導と個別指導をバランスよく取り入れ、きめ細やかな指導・支援を行っています。また、より具体的な将来像を描けるように、進路学習や交流及び共同学習、生徒会活動にも力を入れています。小学部での学びを深め、社会生活に必要な力の基礎を作る段階として、自分で考え行動できる生徒の育成を目指した指導支援を行います。



高等部

高等部は、高等学校に準ずる教育を行う本科（Ⅰ課程）と本科卒業後進学し、2年間職業に特化した学びができる専攻科が設置されています。本科1年次は、普通科目を中心に基礎学力の定着を図り、2年次から専門学科に所属し、専門的な知識や技能を深めます。専門学科の学習や実習を通して職業意識を高めるとともに、社会生活に必要な知識を身に付け、卒業後の就職と自立した生活を目指します。

また、聴覚障害と他の障害を併せ有する生徒（Ⅱ課程）においては、個に応じた支援を行い、将来の社会自立に向けた学習を行います。

【学科構成】

	本科（3年間）			専攻科（2年間）	
	1年	2年	3年	1年	2年
Ⅰ課程	普通科目を中心に学習。	総合デザイン科 ・セラミックコース ・インテリアコース ・ライフデザインコース 理容科		総合デザイン科 ・セラミックコース ・インテリアコース ・ライフデザインコース 理容科	
Ⅱ課程	障害の状態や発達段階、適性等に応じた学習。			※専攻科進学時は選考検査があります。	

【専門学科の学習の様子】



インテリアコース



ライフデザインコース



セラミックコース



理容科

【高等部卒業後の主な進路先】

一般就労：双葉産業、株式会社だいちゃん、佐世保市役所、トヨタ自動車九州株式会社、ダイハツ九州株式会社、白濱塗装、三菱パワー株式会社、アイシン高丘
福祉就労：県内・県外の就労継続支援A型・B型
進学：長崎県立看護学校、国立県営福岡障害者職業能力開発校

部活動

陸上部があり、中総体や高総体をはじめ、九州地区ろう学校陸上大会や各種競技会・ロードレース大会に参加しています。



寄宿舎

基本的な生活習慣を身に付けるため、自主的・計画的な生活態度を身に付けるようにしています。

自治活動（杉の子会）では、舎生役員が中心に企画・運営をし、歓迎会・夏祭り・年忘れ会等の行事を行っています。



学校沿革

明治31年 「長崎盲啞院」開校（長崎市興善町）
大正8年 「長崎盲啞学校」と改称
大正13年 盲啞学校の組織を分離、「長崎聾啞学校」設立
昭和4年 「長崎県立聾啞学校」と改称（長崎市上野町）
昭和23年 「長崎県立ろう学校」と改称（大村市古町）
昭和31年 大村市植松郷に移転（中高等部は古町に残置）
昭和39年 大村市植松に完全移転
平成30年 大村市宮小路に移転 創立120周年
平成31年 佐世保分校が佐世保分教室へ改編